

学校・保護者・地域をつなぐ...

うてよびびけよ 鼓中通信

第7号

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校
☎059-386-5852

「来てよかった、明日も来たい」学校を目指して
令和7年7月8日

中体連夏の大会が始まっています!!今できることをあきらめずやりきろう

6月28日を皮切りに、暑い熱い中体連夏の大会が幕開けました。今年度も熱中症予防として時期を早め、時間帯を工夫しながら何日間かに分けての開催となっています。3年生にとっては引退試合でもありますから、これまでの頑張ってきた成果を思い切り余すことなく発揮してほしいです。もちろん勝ち進めることを応援していますが、結果はともあれ、生徒たちには、努力した者にしかわからない喜びやくやしさを、体中で感じてほしいと思います。そして、次の目標へ向けてきっぱりと切り替えができることを願っています。



壮行会が6月27日(金)にオンラインで行われました。各部活動のキャプテンが、第1戦への意気込みとともに、なかまや顧問に対する感謝の思いをしっかりと語っていました。

1学期の締めくくり...あたりまえのことをあたりまえに丁寧にやる力を



夏休み間近、気持ちの開放感もあるこの時期です。教室はエアコンが効いて涼しいですが、それ以外はとっても蒸し暑いので、疲れて体がだるく気持ちも緩んできます。朝から疲れた様子で登校する生徒が多いのが気になります。また、休み時間の騒がしさ、掃除時間の集中のなさ...できていたことがおろそかになってしまうのはもったいない。こんな時期だからこそ、よく寝て体調を整える工夫をし、いつもより集中してあたりまえのことをあたりまえにできるよう意識できるといいです。

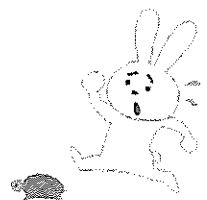
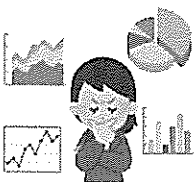
通知表の見方...結果に至った過程を振りかえる

保護者の皆様には、来週15日~17日の懇談会よろしくお願いいたします。

1学期のお子さんの生活を振り返り、これからの目標をお子さんに聞いてあげてください。定期テストでは、自分の得点にショックを受けている生徒もいますが、そもそもテスト範囲の課題は提出できているのか確認すると、残念なことにワークブックに手を付けていない生徒もいたと聞きます。提出物が期限までに提出できないことは、将来社会人としても困ったこと

になります。相手のあることであれば、なおさら信用を失いかねません。通知表も一緒に、得点に気を取られて、何が課題だったのかを見失わないようにしましょう。

一方では、努力しているのに成果があがらないこともあります。成長速度は人によって異なります。大器晩成、あせらずお子さんを見守ってください。



平和の原点は人の痛みがわかる心を持つこと...

世界のいたるところで、それぞれの国の正義と信念の名のもとに戦争が起こり、たくさんの人々の命、たくさんの人々の幸せが、一瞬のうちに奪われています。私たちの国も、戦争をしてきた過去があります。また唯一原子爆弾を落とされた被爆国でもあり、今年は、広島と長崎に原爆が投下されて 80 年目にあたります。年月が経つとともにその当時の様子を直接語り継ぐ方が、次第にいなくなってきました。

6 月 30 日（月）、長崎県「原爆体験を語り継ぐ 永遠（とわ）の会」より、被爆体験記の朗読ボランティアの甲斐さん、佐藤さんのお二人にお越しいただきました。まずは、当時の長崎の町の様子、原爆の威力、被害の状況と放射線の後遺症についてお話しいただきました。そして、当時小学生であった子どもの作文集「原子雲の下に生きて」の朗読と、長崎県立桜馬場中学校の生徒たちが被爆者の話を聞いて作成した紙芝居を読んでいただきました。朗読も素晴らしかったのですが、実際に体験した、当時子どもであった人の体験記ということが、まっすぐなメッセージとして生徒たちの心に刺さるものであったようです。授業後のアンケートからも一人一人の心を揺さぶられた思いが伝わってきました。



生の声が心に響きます

最後に感謝の思いを伝える生徒



2 学期には、文化庁後援の戦争をテーマとした演劇鑑賞も予定しています。今年、日本被団協がノーベル平和賞をもらいました。平和を訴え続けてきた活動が世界でも高く評価されています。世界で唯一の被爆国としても、今回の朗読をきっかけに、平和のために自分たちにできること、今からできること、誰にでもできることを考え行動できる人になってほしいと強く思います。

生徒の感想より

○・・・実際に経験していないのに、経験したくらいに心がギュウッとなってとても悲しかった。戦争は自分が思っている以上に辛く、悔しく、（人の命や幸せは）はかないものなんだ。・・・

○・・・原爆を落とされた唯一の国だから、体験したことを後世に伝えていかないといけない。私も経験したくないし、ほかの人にも経験させないために、原爆のことを考えていこう。・・・

○・・・戦争を減らしていくために自分たちにできることはないのだろうか、貢献できないのかを考えることが重要だと思う。亡くなった人たちのために私たちが精いっぱい生きていくことが大切だと感じた。・・・

7 月 7 日 各学年での七夕飾りには、自分の願い事のほかに、平和な世界や戦争のない幸せな世界がくるよう、祈りの言葉がたくさんありました。

